

子どもの理解に基づく指導 ～自立活動を見直す～

ー作業療法士の視点ー

北海道教育大学札幌校 特別支援教育専攻
池田千紗（作業療法士）

- ☆プリントで配布しておりませんので、必要であれば撮影してください。
- ☆ほくとくネットで資料を配布しますので、ダウンロードしてください。

作業療法士

> 作業療法とは

人々の健康と幸福を促進するために、医療、保健、福祉、教育、職業などの領域で行われる、作業に焦点を当てた治療、指導、援助である。

> 作業とは

対象となる人々にとって

目的や価値を持つ生活行為を指す



**子どもが
やりたい作業
参加したい作業**



**先生が
やって欲しい作業
参加して欲しい作業**



自立活動で取り組む体づくり運動



- ・一人一人の取り組む“意味”が異なるので、先生に確認しながらアセスメントを行います。

体力をつけるため 体幹筋力をつけるため 体を上手に動かすことができるようになるため
コミュニケーションのため ルールを守るため 同じ場を共有するため
などなど

- ・一人一人の目的とする“作業”が異なるので、先生に確認しながらアイデアを出します。

授業に集中して参加したい 姿勢よく座って食べたい 縄跳びができるようになりたい
字が上手になりたい お友達と遊びたい サッカーが上手になりたい
などなど



体力をつけるため

アセスメント①～目的とする作業～

運動の場面 or **授業場面**



指先を動かすこと
目を動かすこと

これらが苦手で
疲れてしまっている？

アセスメント②～どうして体力がないのか？～

筋緊張が低い

→筋肉をたくさん使う運動！

運動の組み立てが苦手

注意のコントロールが苦手

→脳の機能を高めるような運動！



体を動かす際に
脳を沢山使わなければならない、
頭が疲れてしまっている？

筋緊張が低い子ども



肘をつく



姿勢がくずれ



あごがひけない



くずれてしまう



頭をごしごし洗えない



ふらふらする
まっすぐに走れない

体幹筋力をつけるため

アセスメント①～目的とする作業～

座った姿勢／立ち姿勢

アセスメント②～どうして姿勢が保てないのか？～

筋緊張が低い

筋力を発揮できない

原始反射が抑制できない

→筋肉をたくさん使う運動！

前庭感覚の処理が苦手

視覚情報の処理が苦手

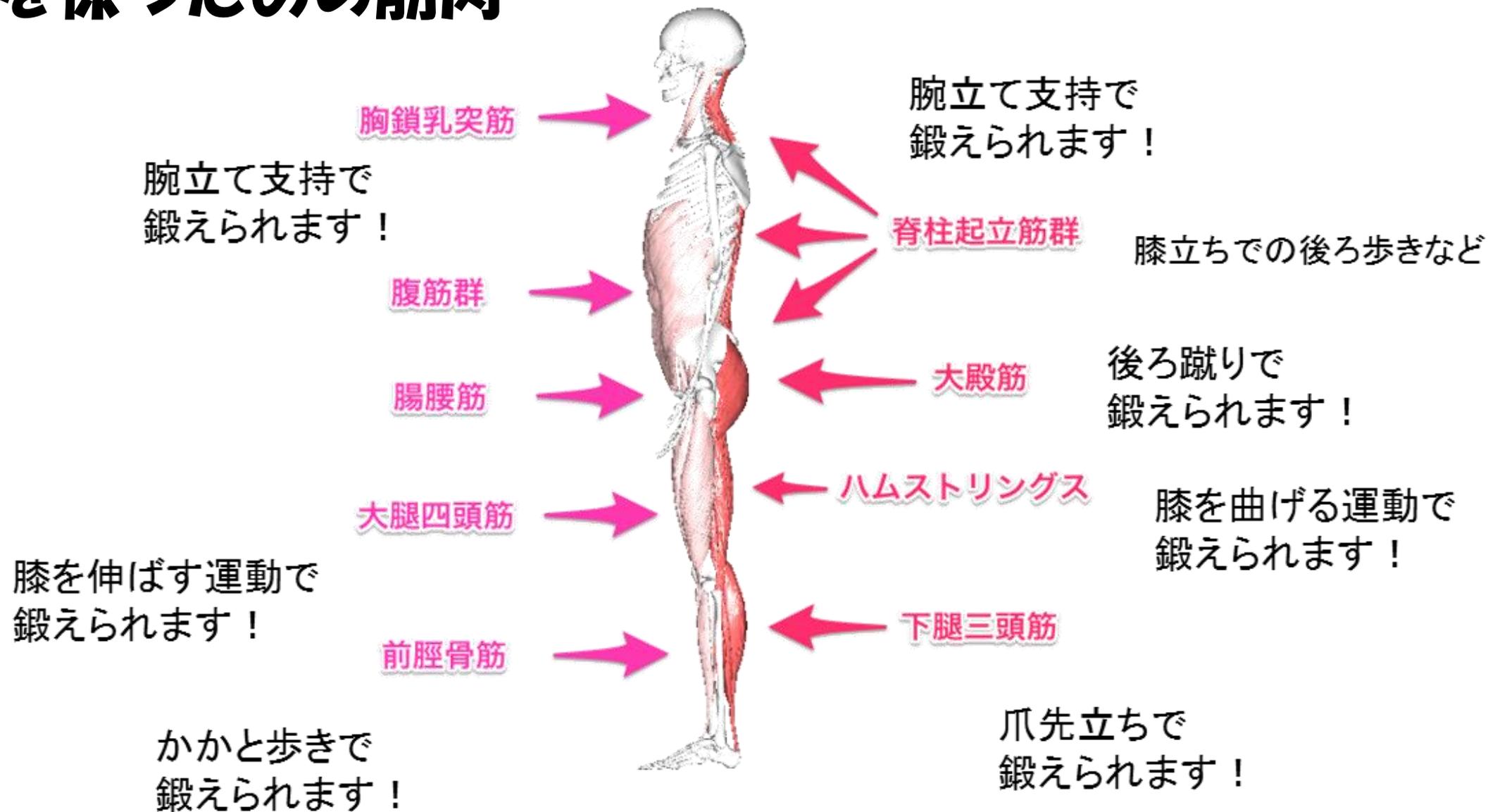
→感覚が入力される運動！

バランスを取るためにつかう筋肉が異なる！



目を開けた状態／目を閉じた状態で
バランスを取る様子が異なる！

姿勢を保つための筋肉



原始反射



- 脳機能の発達により抑制される
- 姿勢を保つ筋力がないため出ることもある



体を上手に動かすことができるようになるための運動

アセスメント①～目的とする作業～

巧緻動作 or 粗大運動

巧緻動作については、体づくり運動や生活動作の中での練習だけでは、なかなか上手にならないことがあります。

必要な部分を重点的に練習することが大切です。

アセスメント②～どうして巧緻動作が苦手なのか？～

腕の重さを支えられない

分離運動ができない

手首を反らせる力が弱い

→筋肉をたくさん使う運動！

握力・ピンチ力が弱い

手内操作ができない

→手を使った運動！

触覚情報の処理が苦手

→感覚が入力される運動！

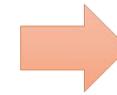
巧緻動作

アセスメントのポイント

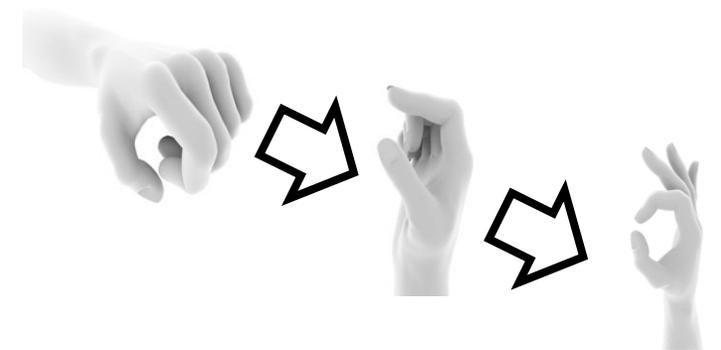
- ①姿勢が安定していること
- ②肩で腕の重さをしっかり支えられること
- ③左右の手の役割分担ができること
(左手は押さえる手、右手は動かす手など)
- ④手首をしっかりそらすことができること
- ⑤指の役割分担ができること
(親指・人差し指・中指は運動、薬指・小指は支える)



手の平全体で物を操作するとき
手首はまっすぐ



指先で物を操作するとき
手首をそらす



指の役割分担

鉛筆を動かす
親指・人差し指・中指

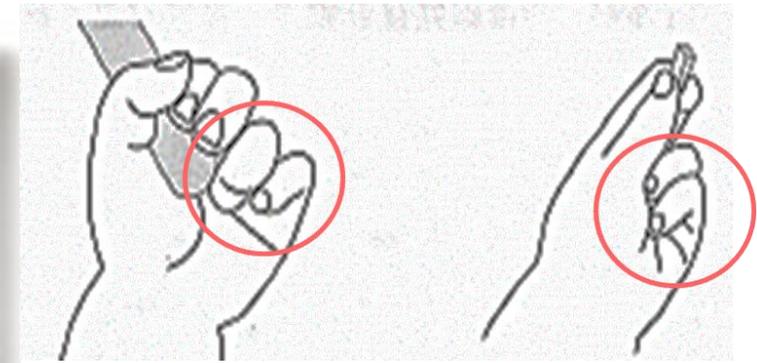


3本に指の動きを支える
薬指・小指

部分を
固定する。

ペン字いんすとーるより引用<https://cumacuma.jp/>

箸久より引用<https://www.hashikyu.com/>



運動

土台



**作業療法士の視点からアセスメントのポイントをご紹介しました。
目的や子どもの持っている力に合わせて取り組みを変える必要がありますが…**

目的や子どもの持っている力はバラバラ！！

どうやって1つの授業の中で取り組んでいくかが難しい！！

体づくりの実践例

動物歩きで体づくり♪

- ・筋緊張を高める
- ・原始反射を抑制する
- ・体幹を鍛える
- ・骨盤周囲の筋肉を刺激する
- ・上半身と下半身の分離運動
- ・手足の分離運動

さらに！ちょっとした工夫で…

- ・運動の組み立て
- ・注意のコントロール
- ・コミュニケーション

